

例会報告 Rotary

お祝い・AG訪問
クラブアッセンブリー

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 ●会 長 下屋勝比古
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988 ●幹 事 塚本 直人
大垣共立銀行高山支店 4F ●会報委員長 挾土 貞吉

世界に希望を生み出そう

<会長の時間>

今年最初の例会となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

連日能登半島大地震の報道が流れてきます。ちょうど原稿を書いている今日は1月17日「阪神淡路大震災」の発生した日です。私は発生の11時間前、友人の結婚式からの帰りに新神戸駅付近を通過していました。関西の学校だったこともあり、神戸市長田にはいつも居候していた友人の家があり、発生当時家の前が大火災でした。1年後訪ねた時まだ焼け野原の跡が残り、ゆがんだ道路など災害の爪痕を見てただただ涙があふれたことを思い出します。29年が過ぎた今は、面影もなく復興した神戸の街が広がっています。

東日本大地震で有名になった「奇跡の1本松」の陸前高田へは地震後11年目の一昨年行きましたが、にぎやかな街があった場所は、ぼつぼつと家は立ち始めていましたが、ほとんど雑草だらけの平地でした。

現在、能登半島では寒い中の避難生活で大変な思いをされています。二次避難ということで避難所を離れるひと、残る人様々です。故郷への愛着の程度にもよりますが、少しでも安心して生活できることを祈ります。当クラブとして何ができるか？どんな支援をどこへすべきか？など皆さんと協議をして決めていきます。何件かご意見やお申し出がありましたが、支援は急がずとも長く時間のかかるものです。落ち着いて話題にします。

「自然の猛威に対して人間の力は小さいけれど、人間の持つ希望が強い知恵と絆になって大きな力を生む。」わが母も二次避難から金沢の病院へ送られました。あの環境でしっかりサポートしていただいていることに感謝です。

さて、今回は山田アシスタントガバナーにお越しいただきました。今年度後半に向けてご指導いただきます。100%は無理でも、全員に来ていただける例会を目指します。皆さんが、一度は演壇の前に立っていただく機会を作ります。「伝統と格式」高い日本の礼節を重んじつつ、時代に置いていかれないクラブ運営に心がけ、世界平和を願い私自身、健康で元気に運営頑張ります。



<幹事報告>

◎RI日本事務局より

- ・1月のロータリーレートについて
1ドル141円 (12月147円)
- ・職業奉仕月間 リソースのご案内

◎多治見西ロータリークラブより

- ・「発達障害者の雇用を学ぶセミナー
(大人の発達障害者職場で活躍するのび)」チラシ配布のお願い

◎関係各位より

- ・年賀状 拝受



<例会変更>

- 高山中央 … 2月 5日(月)は、節分例会のため
18:00~ 飛騨総社および山陣に変更
2月12日(月)は、法定休日のため 休会
2月19日(月)は、定款により 休会
美濃加茂 … 2月23日(金)は、祝日により 休会

<受贈誌>

高山RC(会報)、高山中央RC(会報)、下呂RC(会報)、米山記念奨学会(ハイライトよねやまvol286)、(社)高山市文化協会(広報高山の文化No249、高山メセナメイト会報No80)、(株)フジマキネクタイ(2024-25ロータリーカタログ)

<出席報告>

出席者数	会員数	出席率
28名	36名	82.35%

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日

(写真左より)

- 井辺 一章 1. 3
古橋 直彦 1. 9
米澤 久二 1. 10
大屋 尚史 1. 23

◎夫人誕生日

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 田中 武 | 文子 さん | 1. 6 |
| 米澤 久二 | 智子 さん | 1. 25 |
| 門前庄次郎 | 真理子 さん | 1. 29 |
| 堺 和信 | 淳子 さん | 1. 16 |
| 垣内 秀文 | 優子 さん | 1. 18 |



◎結婚記念日

(写真左より)

- 伊藤 松寿 1. 11
大屋 尚史 1. 14

- 長瀬 達三 1. 30
(当日欠席)



例会報告

◎出席表彰 →

垣内 秀文

5年



← ◎在籍周年記念表彰

古橋 直彦

30年

◎3ヶ月表彰

- ・井辺 一章 ・大屋 尚史 ・垣内 秀文 ・下屋勝比古
- ・杉山 和宏 ・佐藤 貴史 ・田中 武 ・堀 幸一郎
- ・米澤 久二

AG訪問

濃飛グループガバナー補佐
山田 彰 様

今ほど雑誌委員長からロータリーの友のご紹介がありました。先週の金曜日、美濃加茂クラブから今回の第3回のクラブ訪問をさせていただき、私、この月刊誌の話をさせていただいたことを今思い返しておりました。縦組み記事の山本さん、新潟の会社の方の話は、自分も青年会議所をやっておりましたのでごく感じたんですが、やっぱり若いうちは自分を磨こうという研修の意識が大きかったわけですけども、ロータリーに入ってから奉仕の心とい



いますか、四つのテストの部分を考えて実らせた方はやはり立派になられるんだというのをつくづく思います。今職業奉仕月間ということで、自分がどれだけ奉仕できるかということで、お金は後で帰ってくるものだ、ということが書いてあるんですが、ぜひ読んで頂きたいと思います。高山西ロータリークラブさんのクラブ番号というのがロータリーの友事務所から来ておりまして、その番号をインターネットの『友』電子版というところに入れますと、WEBでロータリーの友を見ることができます。高山西さんが設立された1966年の1月のものも見ることができます。一度試しにやってみてもらって、昔の物見たりしてですね、その時に東京の方でこのような例会されてるんだなあっていうのを見てもらうのもいいんじゃないかなと思います。

今日お話ししなければならぬことを先に話しておきます。AG CC会議というのが年4回とか5回あるんですが、そちらで話された内容として各クラブにお話させていただく事として、先般の地区大会に大変多くの皆様に参加いただきましてありがとうございますという話がガバナーからありました。11月の17.18日と地区大会を行わせていただいて、多くの会員の方の登録をいただいて、盛大に行うことができました。RI会長代理としては韓国のユン・ヨンホRI理事がお越しになったということで、この方をお迎えしてお見送りした後は、ガバナーからプレゼントされたのはカバンをお渡ししたと言うことでございます。ポケットマネーからだったのか、地区のお金からだったのかはちょっと聞くのを忘れました。

あとですね、この地区大会に参加したメンバーの数は、66名の黒子と言うか琴を弾いたり舞台上で踊ったりする方々、裏で動かれる方も含みますが、1,618名であったと言う報告がありました。あと、記念講演で京都クラブの千玄室大宗匠の「みんな一緒 和の心」と言う講演が1時間ありました。この千玄室さん100歳を迎えた方で、お話を1時間されたんですが、後半の部分、もう少しで自分は特攻隊員として突撃するところであったという話があったんですが、その話の最後の方になりますと、演台が10cm前へ動く位熱いお話がされたという事でした。今も百歳を超えてロータリアンやってみえる方がおられるということで、大変貴重なお話が聞けたと、受講された人たちの喜びの言葉があったということをご報告申し上げます。大懇親会は、多治見の名物、鰻の蒲焼を一人一匹提供され、また大抽選会が開催されました。それから今回の大会で一人だけ救急車に乗って運ばれた方が見えたという事の報告が御座いました。いずれにしても無事大会が盛大に行われたとの報告がありました。

そしてこれからですが2月14日。バレンタインデーですけどもその時に名古屋の電気会館で、2630地区のチャリティーコンサートというのがございます。ぜひ多くの方にご覧頂きたいと、クラブに案内が来ていると思います。チケットが一枚3500円ですが、地区の奨学金を得て世界で学んだロータリーの学友、美濃加茂クラブという溝口さんという人が今回出演されますが、そういった奨学生たちがみんな揃ったコンサートがあります。コロナの最中はやっていなかったもので、四年ほどやっていないそうですが、ぜひそちらを鑑賞していただきたいという話がありました。あとですね、セミナー、ロータリーの地区が主催する、例えば寄付金に関するセミナーというものがあるのに対して、各クラブからどうしても一名以上出て欲しいということになっています。今回財団のセミナーがあったんですけども、2クラブ出席してもらえなかったところがあったということでございます。その2クラブにはどうしても出ていただくということで、補講させていただいたという話がありました。セミナーというものは各クラブの会長が出てくるわけじゃなくて、各担当委員長が出ていただきたいと切に思います、という話があったことを報告させていただきます。

あと、次年度の話もちょっとさせていただきますが、亀井喜久雄ガバナーエレクトが年明け早々にアメリカに行って研修をされてきて、もう帰ってきております。このように次年度が動き出していますが、実はまだ六ヶ月今期が残っておりますので、先ほども下屋会長からお話がありましたが、まだターニングポイントですのでこれから何をさせていただきたいかと言いますと、会員増強です。来年のスタートダッシュがうまく進むように会員増強には力を入れていただきたいと思います。この濃飛グループは現状今期会員増であります。また、2630地区としましても、スタート時期から比べて会員数増加をしていますけれども、よその地区では減っているところもあります。地区として会員増であることはいいことだと思いますが、ガバナー月信の後ろから二ページ目のところに各クラブの会員の増減が出ています。大変な時期ですけども、そちらの方みていただいて、なんとか増強の方よろしく願います。

次回こちらにお邪魔させていただく時は、最終の5月の末位から6月の間にさせていただきますが、その時には一年を振り返るということでお話をさせていただきながら、AGエレクトの岡田さんにバトンタッチできるようにして行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

例会報告

クラブアッセンブリー

S. A. A 鴻野 幸泰

副委員長は伊藤 松寿、委員は堺和信、田中品洋、堀幸一郎、水梨弘基、・大家尚史です。

基本方針は、「例会場を会員全員で秩序ある楽しい場になるように協力を求める」で、今年度は、例会でのロータリーソングの時のソングリーダーをSAAのメンバーと会員の中でもタクトを振っていただきたいと思います。

担当例会では、9月1日に料亭洲さきの御主人にお座敷のマナーについて、お話をさせていただきました。あと半年よろしくお祈いします。



会員増強部門長 堺 和信

会員増強部門には会員増強委員会、職業分類・選考委員会、ロータリー情報委員会の3つの委員会があります。

会員増強委員会の委員長は長瀬達三さんで、担当例会として8月18日と12月15日にオープン例会を開催し、それぞれ5名の方々が参加して下さいました。8月18日は、高山商工会議所青年部会長の森本賢吉さんをゲストにお迎えし、高山 YEG についてお話しいただきました。12月15日は、下屋会長が「伝統と格式のある高山西ロータリークラブ」についてのお話と、本年度の活動内容について、プロジェクターを使いわかりやすく説明していただきました。ロータリー情報委員会の委員長は遠藤隆浩さんで、11月14日に前年度入会の大家さん、佐藤さん、平康裕さんに出席いただき、「知っておきたいロータリー情報」を中心にしてオリエンテーションを行いました。職業分類・選考委員会の委員長は古橋直彦さんですが、残念ながら本年度の入会者はまだなく、委員会活動はありません。

オープン例会に参加して下さりました方々を中心に勧誘活動を勧め、残念ながら1名の退会者が出てしまいましたが、下屋会長が掲げるクラブ活動目標の実増4名を目指して、活動していきます。



職業分類・選考委員長 古橋 直彦

職業分類・選考委員会は、私と副委員長の平義孝さん2名の委員会です。

会員の入会があつてはじめて能動的な活動出来る委員会ですので、会員増強委員会の活動にも協力をしてまいります。



ご講評 山田ガバナー補佐

AGとして各クラブを訪問させて頂きますと、例会運営もそれぞれ違い大変興味深く感じます。本日もソングリーダーの方が会員の皆さんの顔に引き合つてタクトを振られているのは良いことだなぁ、と感じながら拝見しておりました。他クラブでもご紹介させて頂きたいと思います。

また会員4名増強を目標とお伺いしました。増やすのは大変難しい事ですが、私本日こちらに訪問するにあたり、西クラブさんのホームページ拝見してきました。他クラブ見ると更新されていなかったり、会員がログインしなければならなかったりするものもありますが、ホームページとは何ぞや、と考えると外部への発信という事が一義にあり、その点で貴クラブは素晴らしいと思います。年明け能登半島の震災もあり、事業継続のためのBCP計画が各企業できちんとなされているか、自分としても改めてチェックしなければ考えた折、実は昨日ホームページ見たんですが、12月22日に福岡大学名誉学長がまるで予言されるかのようなお話をされていたんだな、と思いました。そういった例会での学びを行動に反映できることが大事だと思います。下屋会長のクラブスローガンに基づき4名増やすという目標の為にどうすれば良いのか、会員皆さんでしっかり考え、他クラブより優れた部分をPRしながら増強活動に取り組んでいただければと思います。



奉仕プロジェクト部門長 岡田 賛三

奉仕プロジェクト部門は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、ロータリー財団、米山奨学の6委員会からなります。各委員長さん方が会長方針に則り議論を活発に行い活動して下さいます。下半期もよろしくお願いします。



例会報告

＜ニコニコボックス＞

●濃飛グループガバナー補佐 山田 彰 様

クラブ活動も折り返しの時期に入りました。これからの6カ月の活動はとても大切です。己を高め地域へ還元し尊敬されるクラブ活動に努めて下さい。

●美濃加茂RC 島田 紳助 様

本年も宜しくお願いします。

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

改めまして本年もよろしくお願い申し上げます。今年は元旦より震災が発生し大変なスタートとなりました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。一日でも早く復旧されることをお祈りします。1/7の新年家族例会には多くの会員に参加頂きありがとうございました。

●伊藤 松寿さん

1月7日の新年家族例会で、思いかけず「喜寿」のお祝いを頂き誠にありがとうございました。昨年の痛風を乗り越え、心新たにガンバっています。今後共よろしくお願い申し上げます。

●挾土 貞吉さん

この度の能登半島沖地震、被災地は下屋勝比古会長奥様の生まれ在り所と聞き、ご家族の心配、心中察し心よりお見舞い申し上げます。我が西クラブ平成5年まで珠洲クラブとは姉妹クラブでした。台北クラブより見舞い金届いている事聞くにつけ、その心遣いに頭下がります。当時を知るメンバーとして我がクラブも放っておけない気が致します。理事会でご検討下さい。山田AGようこそおいで下さいました。

●堀 幸一郎さん

全国高校サッカー選手権で青森山田高校が優勝しました。選手の中には先輩のお子さんがレギュラーで活躍していました。もちろん高山出身です。野球が好きな私ですが、新年早々サッカーに夢中になってしまいました。「あの子がこんなになるんだ」という嬉しくもあり、驚きが刺激となり元気を貰ったような気がします。ありがとうございます杉本君！

●平 康裕さん、平 義孝さん

全日市民時報のリレー随筆に掲載して頂きました。家族が一年間健康でいられます様に願います。

●岡田 賛三さん、内田 幸洋さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、田中 武さん、垣内 秀文さん、鴻野 幸泰さん、田邊 淳さん、中島 一成さん、佐藤 貴史さん

山田AG、島田 様、足元の悪い中ようこそおいで下さいました。本年もよろしくお願い申し上げます。



人間力を高める

第19回

田中 晶洋

人間力というのは、人として永遠のテーマだと思っています。どうしたら人間力を高められるのかということを、歴史に残る先人たちが色々な知恵を残してくれています。私がいつも思い出す次のお話しをご紹介します。

中国が唐と呼ばれていた時代に、儒者で白楽天という人がいました。ある時、道でばったり会った道林禪師という有名な禅僧に「仏教とは一言で言ったらどんな教えか」と問いかけてました。道林禪師は

「諸悪莫作しよあくまくさ」（もろもろの悪をなすことなかれ）

「衆善奉行しゅぜんぶぎょう」（いろいろの善を行いたてまつれ）

「自浄其意じじょうごい」（自らその心をきよめなさい）

「是諸仏教ぜしよぶっきょう」（これがすべての仏の教えである）

と即答しました。すると白楽天は呆れて「なんだ、そんなことなら三才の子供でも知っておる」と冷笑しました。すると道林禪師すかさず、「三才の子供もこれを知っているが、八十の老人もこれを行なうことは難しい」と大喝しています。「これ」というのは悪いことはするな、良いことをせよということです。

悪いことはするな、良いことをせよということは誰でも知っているが、実践することが難しいということです。私たちが道端のゴミを拾ったほうが良いと知っていて見て見ぬふりをしたり、エレベーターを使うより階段を使ったほうが身体のためにも地球のためにも良いと分かっている、エレベーターを使ったりします。やった方が良く分かっていることを少しでもやっていく、これが私の人間力を上げるための課題だと思っています。

